

2011年12月16日

第11回 東日本大震災子ども支援ネットワーク運営委員会

日時：2011年12月16日 9:20~11:00

場所：東洋大学2号館6階B会議室

参加者 日本ユニセフ協会(2名) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(2名)

チャイルドライン(1名) 子どもの権利総合研究所(2名) 事務局(1名)

事務局から

(1) HPについて ※参「トラフィックサマリー」「コンテンツサマリー」

○現在、「子どもの目・子どもの声」前回の運営委員会以降、更新が無い。事務局HP更新担当が多忙で更新が滞ったためである。年内に更新予定。

○「子どもの目・子どもの声」に対してコメントくださるようアドバイザーへの働きかけを継続。

(2) これまでの問い合わせと対応について

日付	NWに問い合わせがあった個人・団体	お問い合わせ内容	対応方法
11月17日(土)	(株)遊技関係団体から委託された企画開発事業部 Aさん	社会貢献活動の一環としてNWへの活動支援(寄付)を検討したい。東日本大震災子ども支援ネットワークに寄付をしていることをこの遊技関係団体として広報することを許可することが条件とのこと。	すべての参加団体からの承認が必要ということを示し上げたところ、すでに参加団体から断られたという実績があることということでご辞退された。
11月17日(土)	東京のスポーツイベント制作会社のBさん	スポーツを通して被災された方(特に子供達)に元気になってもらおうとチャリティーマラソンを企画。参加費の一部を寄付したい。	文科省のマッチングサイトに「〇〇円の寄付が集まったので、必要なものを買って寄付します」と書き込む方法をアドバイス。
11月22日(火)	保険株式会社 仙台自動車営業部 Cさん	東京の1部署(約30名)が、仙台にて被災地の子ども支援の活動が何かできないかを検討中。2月の1日間程で、何か出来る事	仙台市災害ボランティアセンター http://www.ssvc.ne.jp/ をご紹介します。

		は無いか？	
11月27日(日)	東京・板橋区在住のDさん(6歳のお子さんの母)	被災した方への鎮魂の意味を込めたCDを東北の小学校へ100枚程送りたい。被災各県の学校の被災状況について教えて欲しい。	文科省のサイトで提供先を募集してはどうかアドバイス。

○マスコミへの対応

日付	活動内容	対応方法
12月14日(水)	日本教育新聞社 より問い合わせあり。 ①今後のNWの活動予定 ②インタビューをお願いしたい。	森田事務局長より直接連絡。

(3) 活動内容

日付	活動内容
11月22日(日)～23日(月)	「第2回子どもの権利アジアフォーラム」に、各国から参加された方にコメントをいただいた。HPにアップする予定。

(4) 今後の活動予定

- ①NPO法人「子どもすこやかサポートネット」の代表田沢さんより、「子どもに対する暴力」対応、国連事務総長特別代表マルタ・サントス・パイスさんの招聘(2月11日・12日)に伴う協力依頼があった。

→ 当ネットワークで可能な限り申し出に協力することにする。受け入れた際の被災地でのスケジュール、必要となる費用(交通費、宿泊費など)については、招聘に関して詳細がある程度決まったところで再度運営委員会において検討をする。

- ②シンポジウム「子どもにやさしいまちづくり」～被災地における多様な取り組み～

1月22日(日) 13:00～17:00 東洋大学白山校舎 定員300名

子どもたちが安心できる生活の場を確保する…というテーマで、防災、自治体、NPOなどのそれぞれの立場から報告を受ける。指定討論を設け、復興における子どもにやさしいまちづくりについて、問題提起を行う。

<別紙>のとおり決定。

- ③3月に、第3回国会における意見交換会を実施

3月8日(木)衆議院議員会館を予定。

※今後の運営委員会の予定

1月13日(金)9:30～ 2月10日(金)9:30～ 3月2日(金)9:30～